

鉾山町の「おひな様」巡り

3月3日から6日まで、生野まちづくり工房井筒屋運営委員会による「銀谷のひな祭り」が生野町口銀谷地域と奥銀谷地域を中心に開催されました。

昔の風習や伝統文化に親しみ、次世代に伝えていくことを目的に、約150軒の民家に大小様々なおひな様が展示され、期間中は多くの人で賑わいました。おひな様が展示されている目印は桃色ののぼり。訪れた人は、散策マップを片手に、街並みを楽しみながら、のぼりを目指し

てゆつくりと歩いていました。



華やかなひな人形がずらり

山東地域の園児が小学校入学体験



1年生が小学校を案内

山東地域の5歳の園児は、小学校入学を控えた3月8日、梁瀬小学校の入学体験をしました。体育館で1年生と一緒にレクレーションをした後、6つの班に分かれて、学校探検。園児はキョロキョロと辺りを見ながら、1年生の手をしっかりと握り、職員室や教室などを見て回りました。

「ここが1年生のトイレや」と優しく説明する姿も。園児は希望に胸を膨らませ、新しく始まる小学校生活が待ちきれない様子でした。

竹田城跡の観光ガイド養成講座

和田山町観光協会は、竹田城跡などを案内するボランティアガイドの養成講座を開催しました。現在12人のボランティアガイドが活動していますが、竹田城跡を訪れる観光客は今後も増えていくことが予想され、それに対応するため行われたものです。

2月13日と27日は竹田地区コミュニティセンターで座学、3月13日には現地研修を行い36人が参加。竹田城跡の歴史や説明する時のポイントなどを学びま

した。



現地で研修を受ける参加者

日ごろの感謝の気持ちを込めて



笑顔で感謝の気持ちを伝えました

2月23日、朝来中学校は、校区内の一人暮らしの人などを訪問し、花と手紙を届けました。この活動は約30年間続いているもの。これまで3年生が行っていましたが、今年度は1、2年生が活動を引き継ぎました。

生徒らは1件1件家を訪ね「これからもお体に気をつけてお過ごしください」と花と手紙を手渡しました。

3年生は在学中お世話になった施設や事業所などを訪問しお礼のあいさつをしました。